

事業名	特用林産活性総合対策事業費			調書番号	65
細事業名	しいたけ原木等確保資金貸付金	財務コード	013804		
担当部課室	森林環境 部 林業振興 課 普及指導 担当 (内線)	6206			

I 事業の概要

実施期間	始期 S61 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(山梨県特用林産協会)
目的	だれ(何)を対象に 森林組合 その対象をどのような状態にして しいたけ等きのこ栽培に必要な優良原木等の資材が安定的に確保されている 結果、何に結びつけるのか 県内における特用林産の振興
内容	<目的及び事業内容> ・しいたけ等きのこ栽培に必要な優良原木等の資材の確保を支援し、特用林産の振興を図るため、県特用林産協会を通じて各森林組合に対して、原木等の資材の購入に必要な資金の貸付を行っている。 <貸付先> ・実施主体:山梨県特用林産協会 <貸付期間> ・1年間 <貸付利率> ・1.0%

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	貸付額(千円)	目標	60,000	60,000	30,000	30,000	30,000	10,000	10,000
		実績(見込)	14,000	9,000	8,000	8,000	3,000	5,000	
		達成率	23%	15%	27%	27%	10%	50%	
		達成区分	d	d	d	d	d	c	
成果指標	県内きのこ生産額(千円) ※目標値はH24~H26生産額の 平均値	目標	358,317	358,317	358,317	358,317	358,317	358,317	358,317
		実績(見込)	361,597	266,456	294,936	272,738	239,233	251,563	
		達成率	101%	74%	82%	76%	67%	70%	
		達成区分	b	c	b	c	c	c	
決算(予算)単位:千円		14,000	9,000	8,000	8,000	3,000	10,000	10,000	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	c	評価	達成率が40%未満となったものの、R1年度より近年の実績を踏まえた予算額に見直している。
成果指標	c		主要な生産者の廃業等により、生産額が減少したものの、今年7月に菌床にワインの絞りがかすを使って栽培する新たな生産施設が山梨市で稼働しており、また、山梨夏つ子きのこの産地化の取り組みなどにより、今後生産額の増加が期待できる。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の 必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性 (成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	新たな生産施設の稼働や山梨夏つ子きのこの産地化の取り組みなどにより、今後生産額の増加が期待できることから、成果向上が可能である。		
見直しの 余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	本事業は貸付実績等を踏まえ、R1年度当初予算において事業予算額を見直していることから、当面は事業の実施状況を確認していくこととし、併せて生産者に対し、本事業の周知に努めるものとする。		
見直しの 必要性	無	本事業は貸付実績等を踏まえ、R1年度当初予算において事業予算額を見直している(3千万円から1千万円へ減額)。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。